

接着剤の使用方法について

下地について

- 使用可能設置面：モルタル、コンクリート、アスコン、塗床、コンパネ等
- 使用不可設置面：磁器タイル、床暖
- 注意必要設置面：(1) 黒ノリ
 - 完全に固まっていれば、そのまま施工できます。固まっていない場合は90%以上除去してから施工してください。
- (2) 既設床材
 - 表面のワックス等を取り除いてから施工してください。
- (3) 鉄板
 - 油、サビ等を取り除いてから施工してください。
- (4) サビ止め塗料
 - 接着力が低下しますので、塗料を除去するか又は表面をサンディングしてから施工してください。
- (5) 貼り替え
 - 古い接着剤等をきれいに除去し、下地の不陸を下地補修剤にて調整してください。
- (6) 防水シート
 - 今後の貼り替え時に剥離しづらく、シートを傷める可能性があるため施工の確認をおこなってください。
- (7) アスコン
 - 特に人工芝の施工の場合、ジョイントテープを必ず使用してください。
- (8) 塗床
 - 接着剤に含まれる有機溶剤により溶解、膨潤する床材(例：塩化ビニール系塗床)もありますので試し塗りをおこなってください。
- (9) その他
 - 設置面が非透水性下地 ((2)・(3)・(6)・(8)) の場合は塗布量を約 250g/m²程度にて塗布し、オープンタイムも充分にとってください。
- 修正・清掃：凹凸、段差は下地補修材にて修正し、ゴミ、水、油、サビ等は取り除いてください。
- 湿潤面：◎ 下から水が浮いてくる場合
 - P タイルなどを置いて 1 日放置し、水が P タイルに付着していない場合は施工可能です。
 - ◎ 上からの水(雨あがり)等の場合
 - 乾いたウエス等で水を拭きとり、表面に水が浮いていない状態

であれば施工可能です。

- ◎ 未養生モルタル面
 - モルタルの強度がでていれば多少黒ずんでも(全体の10%以下) 施工可能

塗布量・使用環境(モルタル下地基準)

- 標準塗布量：約 400~500g/m² (モルタル面)
 - 塗布にはクシ目ゴテを使用してください。下地及び使用するクシ目ゴテにより若干異なります。塗布量が多めが良い場合：人工芝のパッキングがコーティングタイプの施工(約 600~800g/m²)
- オープンタイム：◎ 夏(25~35℃)：10~20分
 - ◎ 春・秋(15~25℃)：10~20分
 - ◎ 冬(5~15℃)：20~30分
 - ※ 巻癖の強い床材の施工の場合や、鉄板、塗床、ウレタン防水、既設床材上等の溶剤が下地に浸透しない場合の施工はオープンタイムを長めにとってください。
- 貼り合わせ時間：◎ 夏(25~35℃)：50~70分
 - ◎ 春・秋(15~25℃)：60~80分
 - ◎ 冬(5~15℃)：60~80分
 - ※ 接着剤に触れてみて、粘着性がある内は貼り合わせが可能です。長尺シート等で厚さが薄い床材の場合は、接着剤塗布後の時間が長すぎると表面にクシ目が出る場合がありますのでご注意ください。
- 養生・効果時間：◎ 夏(25~35℃)：約 1日
 - ◎ 春・秋(15~25℃)：約 1日
 - ◎ 冬(5~15℃)：約 2日
 - ※ 重歩行は春、秋、夏期で約 3日、冬期で約 5日間は避けてください。
- 転圧・仕上げ：貼り合わせ直後にローラー、紙管等で十分に転圧をかけてください。また端、巻き癖等の浮き防止の為、1~2時間後に再転圧をかけてください。仕上げに関しては床材表面に付着した接着剤は硬化する前にヘラ、ウエス等で拭き取ってください。(水拭き不可)

人工芝のメンテナンスと施工 1

設置時のお願い

- 使用頻度や使用条件により、人工芝のパイルの摩耗を早める可能性がありますのでご注意ください。
- 人工芝設置場所では、底の硬い靴、スパイクシューズ等のご使用は避けてください。(運動靴推奨)
- 砂以外の土砂、土などを人工芝設置場所には持ち込まないでください。
- 人工芝を設置場所での飲食、喫煙、火気の使用は禁止してください。
- 人工芝に油や薬品をこぼさないでください。
- 人工芝の上で重量物や突起物等を引きずったりしないでください。
- ゴルフのクラブや棒、ガラスビン、空き缶等で人工芝に強い衝撃を与えないでください。
- 人工芝の端部やジョイント部を引っ掛けたり、引き剥がしたりしないでください。
- 材料の性質上、夏場の暑さや冬場の寒さにより伸縮の可能性があります。
- 人工芝のパイルは高濃度の薬品に浸した場合等には劣化が著しく進行する場合があります。
- モルタル面、アスファルト面以外の下地への接着性は事前確認を推奨します。
- 人工芝(シート形状)を全面接着しない場合は、人工芝の劣化を早める可能性があります。
- 人工芝をプールサイドならびに海岸付近でご使用になられる場合は、塩素系による影響を受ける場合があります。
- 端材等の廃棄の場合は産業廃棄物扱いになります。

お手入れの仕方

- 土砂、土は人工芝設置場所には持ち込まないでください。持ち込んだ場合は掃除機等で除去してください。特に透水性の人工芝を使用している場合には、砂、泥等が芝目の中に入る事のないよう、ご注意ください。
- ゴミ、木の葉等は、その都度ほうきで除去したり、手で拾ってください。
- 汚れが付着した場合は、布製のタオル等で拭き取ってください。硬いブラシのご使用はしないでください。



人工芝のメンテナンスと施工 2

人工芝の施工方法（新規接着）

1. 下地の清掃

- 土砂、ホコリなどを除去します。突起物、穴あき等をチェックし補修します。

2. 人工芝の割り付け

- 原反を割付図に従って広げ、割付ます。特に大きな面積に施工する場合は、縦継ぎ部の位置をきれいに配置します。人工芝に巻きグセ、寝グセのある場合は、直射日光にしばらく当てるか逆巻きにしてクセを直してください。

3. 人工芝の仮敷き・裁断

- はさみやカッターで容易に切る事ができます。芝目方向を揃え、幅方向の継ぎ目（ジョイント）をきっちりあわせてください。出隅、入隅箇所等は切込みを入れて地形に合わせておきます。敷込み部端末の余裕部は、全体の接着固定が終わってから最後に切断除去し、仕上げを行います。芝は編み込みの為、ほつれないように切断に注意してください。

4. 接着剤の塗布

- 仮敷きした人工芝を動かさないように継ぎ目を中心に両側へ折り返します。
 - ◎ クシ目ゴテによる液体塗布の場合
折り返し部の下地面にクシ目ゴテで接着剤をムラ無く塗布します。（標準塗布量 500g/m²）特に耳部、ジョイント部は念入りに塗布します。
 - ◎ スプレー塗布の場合
透水タイプの人工芝、下地が透水アスファルトコンクリートの場合に最適です。折り返しの下地面にスプレーガンを用いて均等に吹き付けます。（標準塗布量 400g/m²）なお耳部、ジョイント部はクシ目ゴテを用いてムラ無く塗布します。風が強い時には人工芝に接着剤が飛散しないようにベニヤ板等で養生してください。
 - ◎ 注意点
下地がアスファルトコンクリートや粗目のモルタル仕上げのジョイント部には人工芝の裏面にテープ等で固定してください。

5. 人工芝の貼り付け

- 接着剤塗布後、オープンタイム（夏季は短くなります。）以内に、丁寧に貼り込みます。
- ジョイント部には特に隙間が出来ないように、耳部を突き合わせながらパイルを巻き込まないように丁寧に貼り込んでください。
- 端末部分を切断して仕上げ、下地面と接着してください。芝の端のほつれを修正しながら外側に接着剤がはみ出さないように注意してください。



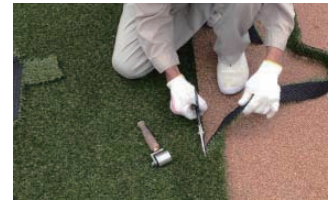
1. 下地の清掃



2. 割り付け 3. 裁断



4. 接着剤の塗布



5. 貼り付け 6. 転圧



7. 完成

6. 転圧

- 人工芝全体を何度もゆっくりと転圧し、シワや膨れを除去します。ふくらみが収まらない時は砂袋などで抑えておきます。

7. 点検・補修・清掃・養生・完成

- 後始末を丁寧におこなう事で、施工の出来映えも違ってきます。
- 人工芝用耐水性接着剤を使用した場合、施工後約 1 日の養生期間が必要です。

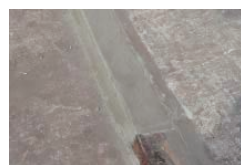
人工芝の施工方法（敷き替え接着）



1. 既存の汚れた人工芝。



2. 剥がし機等を使用して、古い人工芝を剥がします。



3. 下地の清掃とモルタルで破損している箇所を補修します。



4. 新しい人工芝の割り付けをおこないます。



5. 下地に合った接着剤を使用して人工芝を貼り付けます。



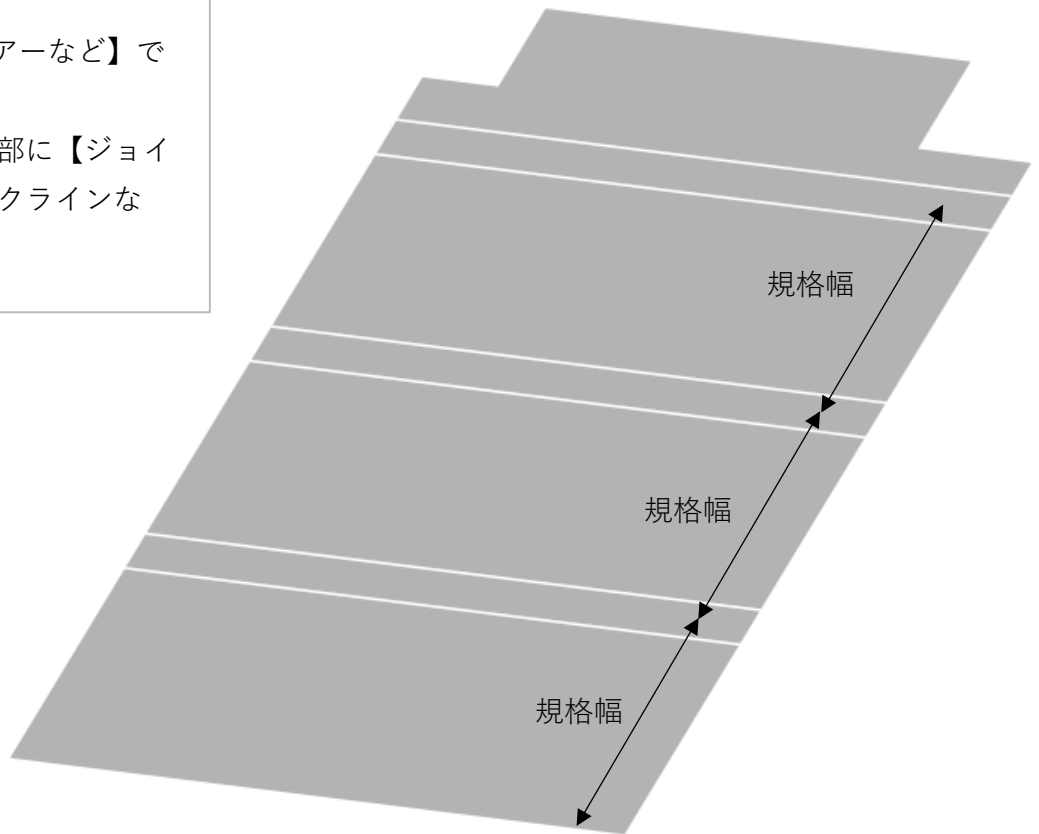
6. 段差や境目がずれないように木板や釘で仮固定します。



7. 接着された事が確認出来たら、最後に木板や釘を取り除いて敷き替えの完了となります。

1) 敷き込み個所の清掃、割り付け

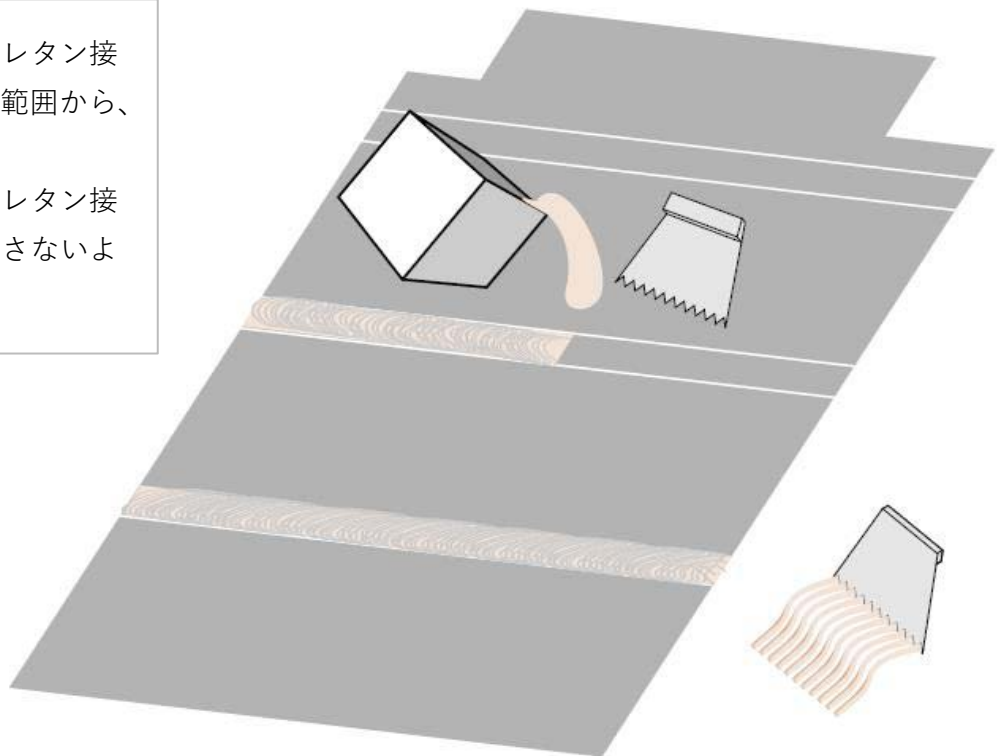
- 施工面を【箒/掃除機/ブロアーなど】で埃の無いよう清掃
- 人工芝の規格幅ジョイント部に【ジョイントテープ】位置を【チョークラインなど】で墨出し



※下地が濡れている場合、接着施工できません

2) ジョイントテープ部の接着剤塗布

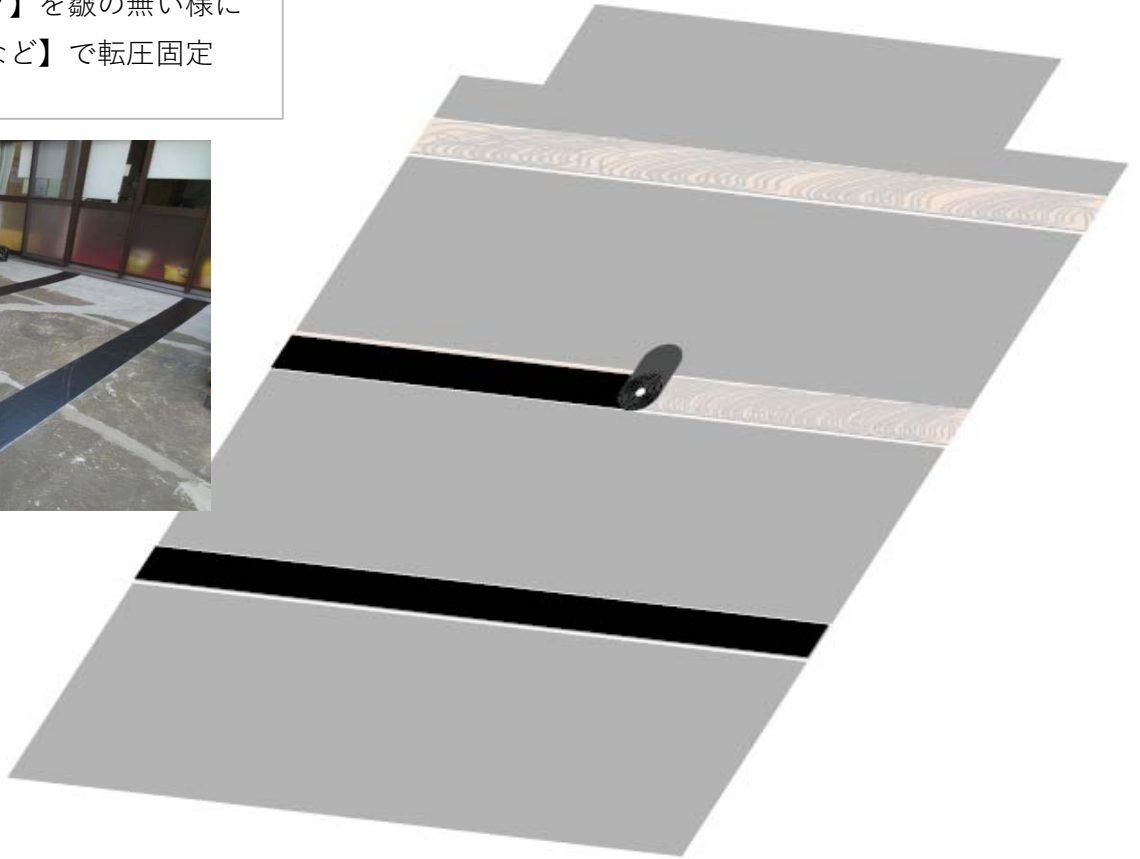
- ジョイントテープ位置に【ウレタン接着剤】を【櫛目刷毛】で墨出し範囲からはみ出さないように塗布
- ジョイントテープ位置に【ウレタン接着剤】を【櫛目刷毛】ではみ出さないように塗布



※接着剤は櫛目の山が出る様に塗り伸ばしてください

3) ジョイントテープ敷設

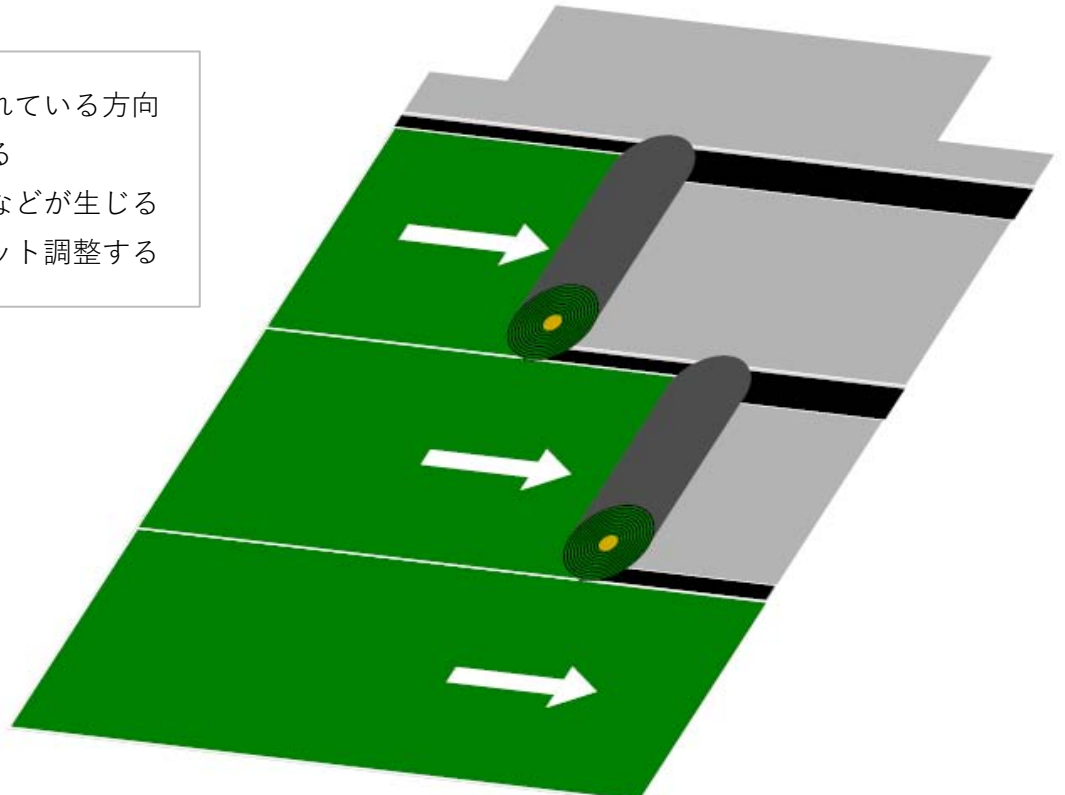
□【ジョイントテープ】を皺の無い様に敷設し、【ローラーなど】で転圧固定



※ジョイントテープはジョイント部の補強材です。粘着剤は付着していません

4) 人工芝仮敷き

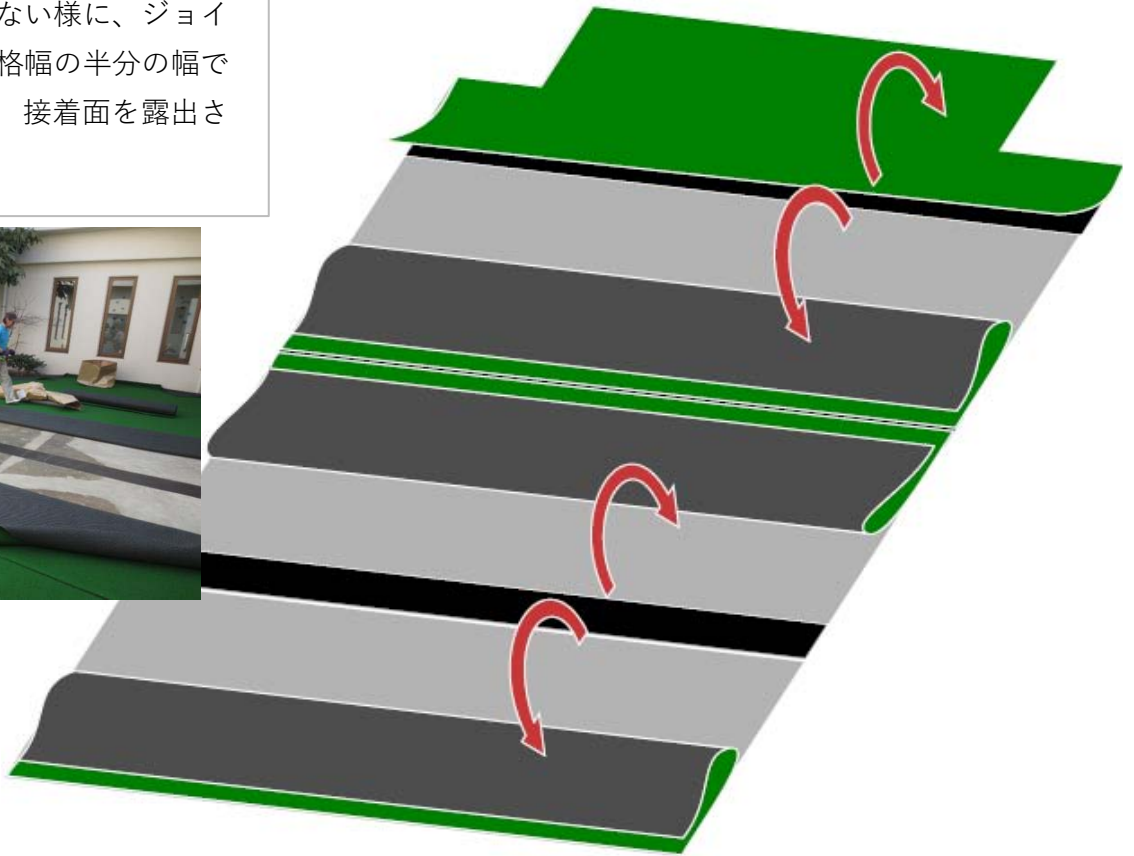
- 【ロール人工芝】をまかれている方向を揃えて仮敷き割り付けする
- 【ジョイント部】の隙間などが生じる場合は【裁ち鋏など】でカット調整する



※調整時はなるべくパイルのステッチを跨がない様にカットしてください

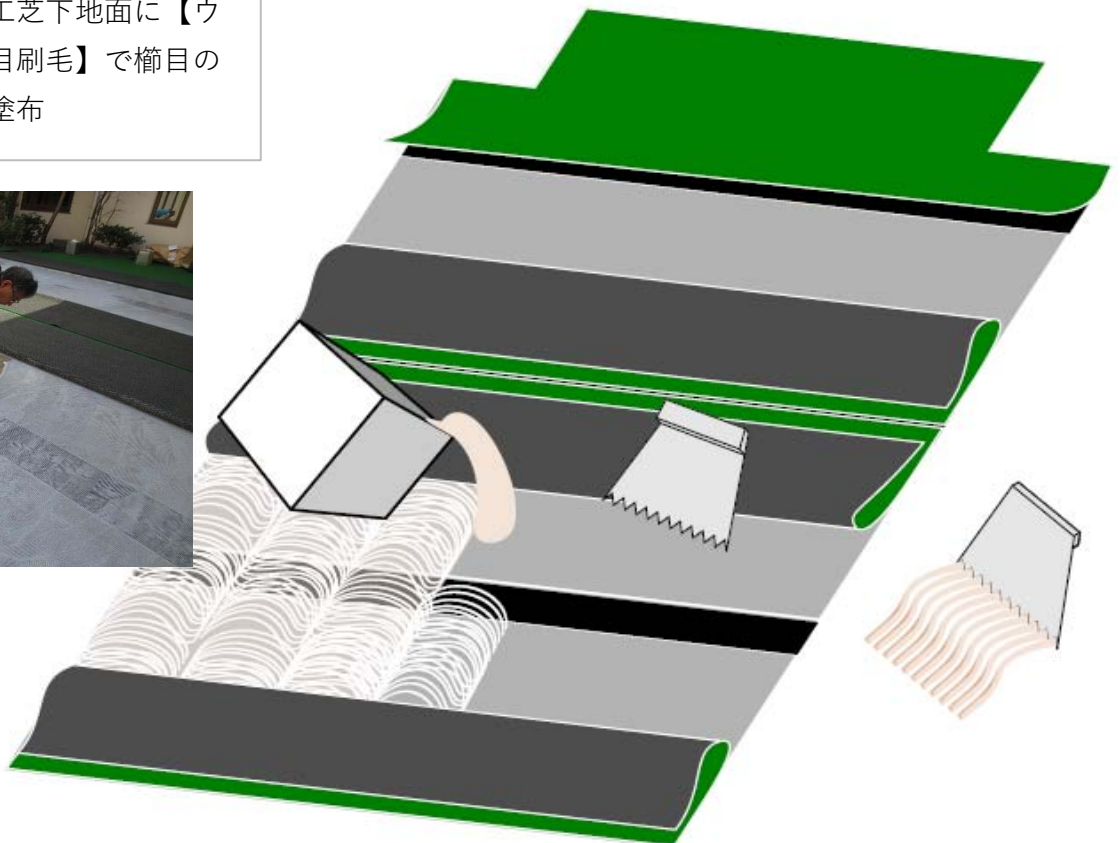
5) 下地面接着剤塗布準備

□人工芝の位置がずれないように、ジョイントテープ位置から規格幅の半分の幅で
やわらかく折り返し、接着面を露出させる



6) 下地面への接着剤塗布

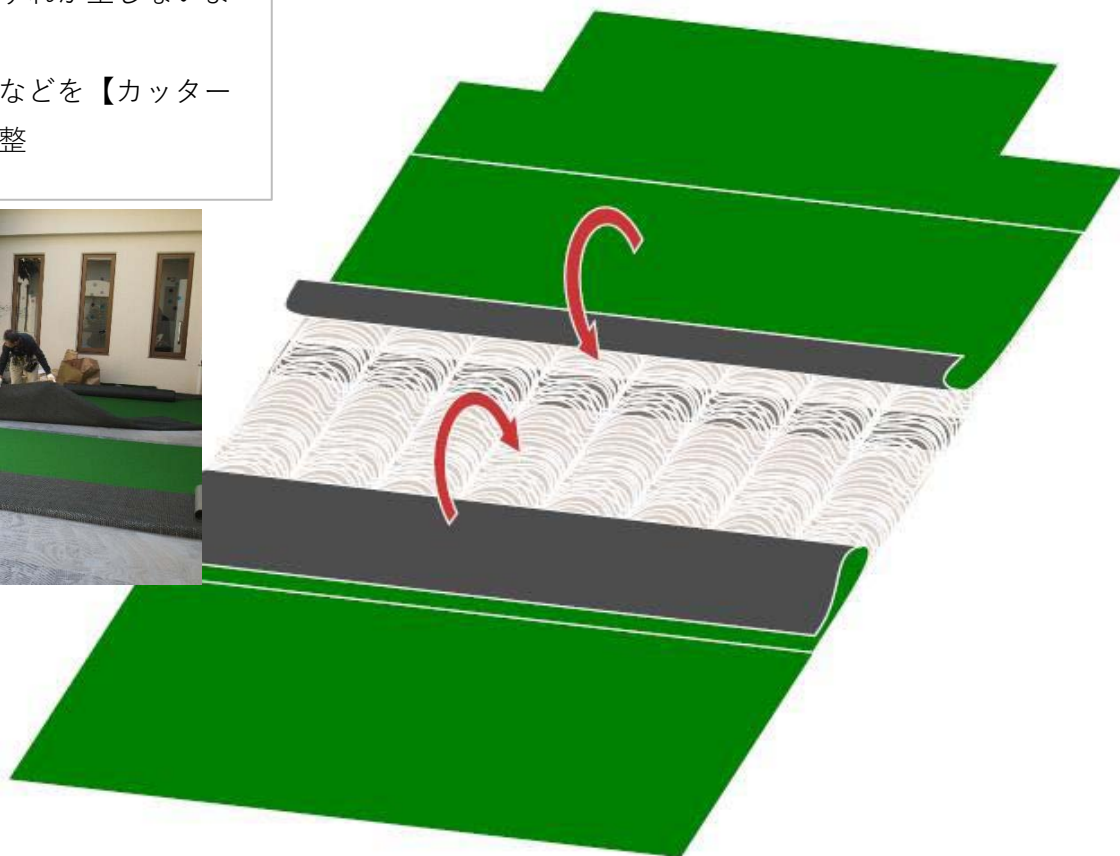
□5) で露出させた人工芝下地面に【ウレタン接着剤】を【櫛目刷毛】で櫛目の山が出る様にムラなく塗布



7) 人工芝敷設

□折り返していた人工芝を接着面に戻し敷設、ジョイント部のずれが生じないように微調整

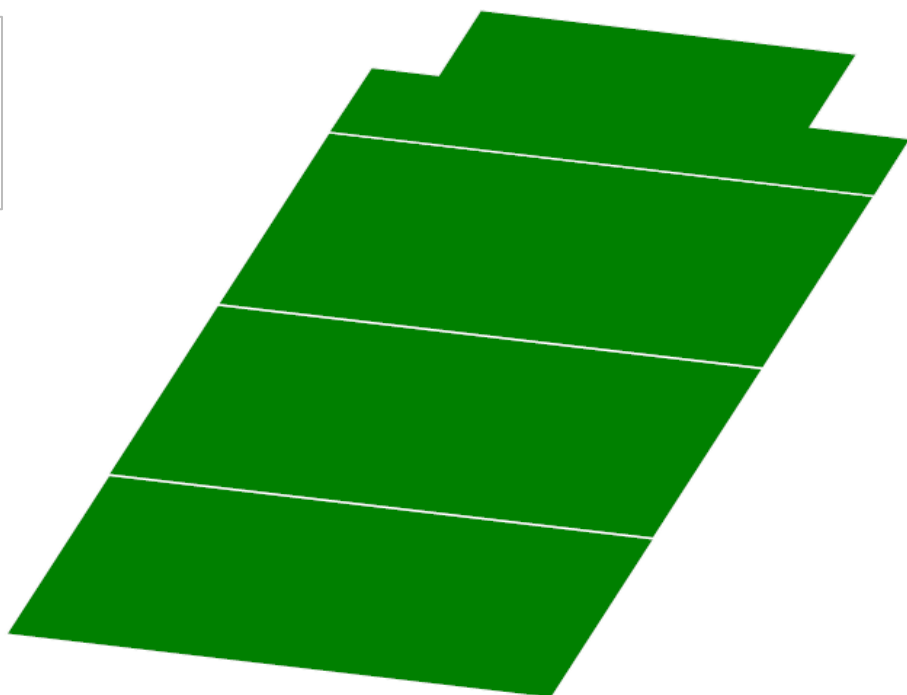
□端部の凹凸や変形部などを【カッターや鋏など】でカット調整



※接着剤に記載されたオープンタイムを経て人工芝を敷設してください

8) 施工完了

□全体に皺が出ない様に【ローラーなど】で十分に転圧
清掃し完成



※転圧が十分でないと剥がれや浮きの原因となりますので、何度も十分に転圧してください。

※ウレタン接着剤が硬化するまで1日間の養生期間を設けてください